

2月定例記者会見の概要

- 1 日 時 令和2年2月3日(月)9時30分～10時30分
- 2 場 所 本庁舎3階 第一会議室

- 3 出席者 <報道機関>
朝日新聞社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)
NHK 南相馬報道室(南相馬記者クラブ会員)
河北新報社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)
毎日新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)
読売新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)
福島民報社 南相馬支社(南相馬記者クラブ会員)
福島民友新聞社 相双支社(南相馬記者クラブ会員)
みなみそうまチャンネル

計 8 社

< 市側 >

市長 林副市長 松浦副市長 教育長
小高区役所長 鹿島区役所長 総務部長 復興企画部長
市民生活部長 健康福祉部長 こども未来部長
経済部長 経済部中目理事 経済部笹野理事
建設部長 総合病院事務部長 教育委員会事務局長

計 17 人

(司会進行)秘書課広報広聴係長
(会議記録)秘書課広報広聴係

【市政報告】

皆さんおはようございます。
お集まりいただきありがとうございます。
それでは、前回の記者会見から最近までの出来事についてご報告申し上げます。

昨年12月に観光業界における総合専門誌「旅行新聞」を発行する旅行新聞新社主催の「第40回 プロが選ぶ観光・食事・土産物施設100選」が発表され、土産物施設部門において当市の「セデッテかしま」が入選を果たしました。

この賞は全国の旅行会社からの投票を基に選出されるもので、今回の入選はこれまでの取り組みを総合的に評価いただいた結果であり、大変喜ばしく感じております。

これもひとえに、指定管理者である「株式会社野馬追の里」をはじめとした関係者の皆様のご尽力によるものであります。また、皆様からのお引き立てのおかげだ

と思っております。改めて御礼申し上げます。

次に、市民説明会についてです。

1月11日に、小高区浮舟文化会館で旧避難指示区域内市民説明会を開催しました。

説明会では、約100人の市民の皆様に出席いただき、有害鳥獣の駆除、山林の除染や公共事業の進捗、沿道の草刈りなどについて意見の交換を行いました。

旧避難指示区域に帰還された、あるいは今後帰還を予定している皆様に安心して暮らしていただくため、説明会で出た課題について、国や県と協議を進めると共に、市で対応可能な案件についてはしっかりと対応して参ります。

次に、市成人式についてです。

1月12日に、ゆめはっとで令和2年の市成人式を開催し、396人の新成人にご出席いただきました。

今回の新成人も、東日本大震災や原発事故を乗り越えてきた方たちであります。これからの人生で遭遇する多くの困難に対しても、自分を見守る家族や友人のことを思い出して、これまでの経験を糧として乗り越えていっていただきたいと思っております。

次に、市議会臨時会についてです。

1月15日に閉会した第1回市議会臨時会において、農業用機械格納ハウス購入など、議案3件について議決を賜りました。

次に、前回の記者会見でも触れさせていただきましたジブチ共和国の義援金の募金について若干ご報告させていただきます。

1月15日から、ジブチ共和国の洪水被害に伴う義援金の募金箱を本庁市民課と各区役所市民総合サービス課に設置しています。

1月末時点でいただいた浄財は、約68万円となっています。

2月14日まで受け付けております。義援金については、募金箱へ直接入れていただく方法、更には個人、あるいは団体から別にお受けするという方法も行ってありますので、市民の皆様にもご支援、ご協力をお願いしたいと思います。

次に、浜通りのお浜下りについてです。

1月17日に、国の文化審議会から文化庁長官への答申の中で、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として「浜通りのお浜下り」が選定されました。

浜通り全体で118か所、本市では鹿島区日吉神社などを含む23か所が含まれております。

本市では、東日本大震災や原発事故の影響もあり、今なおコミュニティや伝統文化の維持が難しい状況です。

こうした中であって、これまで継承されてきた伝統文化が評価された結果であり、大変喜ばしく、地域の発展に向けて大きな励みになると思っております。

引き続き、国や県などの協力を得ながら、伝統文化の継承や保存に努めてまいります。

次に、常磐線に関する話題です。

1月17日にJR東日本から3月14日の常磐線全線開通が正式に発表されました。

改めて関係者の皆様、JR東日本の皆様、更には要望を共にしていただいた経済団体、各機関の方々に感謝申し上げます。今後は、特急列車の利用促進、常磐線の利活用、更なる利便性の向上に向けて引き続き取り組んで参りたいと思います。

次に、立地協定の締結式についてです。

1月28日に株式会社アイリスプロダクトとの立地協定を締結しました。

本協定は、同社が市復興工業団地へ工場建設を決定していただいたことによるものです。両者が相互に連携・協力することで、市内経済の振興に寄与できることと確信しているところです。

次に、相馬野馬追に関する話題です。

2月1日に相馬野馬追保存会総会、並びに相馬野馬追執行委員会が開催されました。会議においては、次年度の事業計画の提案・承認や、雲雀ヶ原祭場地の復旧工事などの議題のほか、令和2年の相馬野馬追ポスターも正式発表されました。

今年はオリンピックが開催される年ですので、相馬野馬追の更なる対外的なPRに向けて尽力して参ります。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

まず、市外の交流イベントを2つまとめてお伝えします。

一つ目は、2月5日に、東京都港区で開催する市サポーター交流イベント「南相馬を語らナイト」についてです。これは都市部在住の当市サポーターなどを対象としたイベントで、当市で活躍するゲストのトークや、当市の食材を使った料理の提供を予定しています。

二つ目は、2月29日に、杉並区と当市の連携事業として東京都杉並区で開催する「南相馬市ヒューマンライブラリー」についてです。これは、参加者を“読者”、当市の市民10名を“本”、区民との対話を“読書”と見なし、それぞれの方々が抱える様々な背景に耳を傾けるイベントです。

当市を訪問したことがない皆様にも当市の魅力をお伝えできる良い機会ですので積極的なPRに努めて参りたいと考えております。

次に、健康づくりフォーラムについてです。

2月11日に「ゆめはっと」において、県立医科大が主催、県・市共催の「いきいき健康づくりフォーラム in 南相馬」が開催されます。

当日は万歩計などが当たるスタンプラリーや、「ふくしま健民カード」をお持ちの方を対象とした景品のプレゼントなども予定しています。

多くの市民の皆様にご来場いただき、生活習慣を改善するきっかけにさせていただきたいと思えます。

最後に、公民連携プラットフォーム会議についてです。

市では、2月14日に公民連携プラットフォーム会議を開催します。

平成29年度から開催されているもので、今回はまちづくりなどに協力いただいている民間団体の皆様と市の若手職員がグループワークを通じて相互理解を深める内容となっています。

市が抱える様々な課題の克服に向けて、民間活力の活用が必要不可欠となります。

市職員が民間主体の活動について理解を深め、公民連携が推進されることにより、市の課題解決が図られていくことを期待しています。

私からの報告は以上です。

【各部からの報告】

特になし

【各部からの報告（資料提供のみ）】

復興企画部

- ・公民連携プラットフォーム会議の開催について

市民生活部

- ・市環境美化運動推進協力者表彰式の開催について
- ・令和2年南相馬市交通安全市民大会について

健康福祉部

- ・いきいき健康づくりフォーラム 南相馬の開催(共催)について
- ・看護師等合同就職面接会の開催について

経済部

- ・令和元年度南相馬地酒「御本陣」新酒発表会の概要
- ・南相馬市サポーター交流イベントの開催について
- ・“南相馬ヒューマンライブラリー”南相馬ものがたりの開催について
- ・バレンタイン交流会

【質疑応答】

質問 1 :

聖火リレーにおいて相馬野馬追をどのように発信するのかについて、考えをお聞かせください。

回答 1 : 市長

組織委員会と協議中ですが、聖火リレーのスタート前に騎馬武者によるお先乗り行軍を行い、沿道の観客の皆さんに相馬野馬追をPRすることや、セレブレーションが開催される雲雀ヶ原祭場地の一部で市独自の復興PRイベントができないか調整中です。

質問 2 :

今年は相馬野馬追が開催される前後の日程で東京オリンピックが開催される予定です。福島市でも競技の一部が行われますが、観光客を南相馬に呼び込む方法について考えがあれば教えてください。

回答 2 : 市長

東京オリンピックは良い機会ですが、何も手を打たないとそちらに人が流れてしまいますので、早めに旅行会社等にコースを組んでいただき、募集をかけていただくことが必要です。旅行会社等への事前PRをしっかりと行いたいと考えています。

質問 3 :

昨年より御本陣の生産本数が減っているようですが、理由を教えてください。

回答 3 : 経済部理事

昨年は生産本数 7 千本の 7 割程度が売れました。今年はその実績を基に 4 千本としています。

質問 4 :

震災から 9 年目を迎え、市長は南相馬の復興状況をどのように見られているか教えてください。

回答 4 : 市長

当市においては地震津波被害と原発被害がありました。

地震津波被害については、集団防災移転や災害公営住宅など移転が進んでおり、国と同様に 10 年で大体は形になると思っております。

一方、原発被害については、復興庁が延長されたように、当市においても 10 年で終わらせるというのは、極めて困難だと思っております。

原発被害については、(避難指示区域の)解除から 3 年が経過し、緒に就いたところですが、未だに市外へ避難している方も多く、市内の人口減少が顕著だと思っております。そうしたことへの対応も含めて問題は続いているという認識です。当然ながら時間は掛かると思っています。

質問 5 :

国の追悼式典が震災後 10 年で終わることが示されました。市は 10 年目以降も続けられる方針か考えをお聞かせください。

回答5：市長

式典を続けるには議会や関係者の皆さんとの協議が必要です。

まだ具体的な協議はしていませんが、私としては続けたいと思っており、その方向でご相談申し上げたいと思っております。

質問6：

コロナウイルスが世界的に流行している状況ですが、イベントが中止になるなど市内への影響が出ているか教えてください。

回答6：市長

今のところそういった情報は聞いておりませんが、市内ではマスクが不足していると聞いています。

市役所としては総合病院なども抱えておりますので、一事業所として業務継続やイベントの開催などについて基準が必要だと考えており、改めて関係機関に方針を確認するよう指示を出したところです。

国や県と協調しながら不安だけが先行しないような対応を行っていきたいと思います。

質問7：

南相馬市の帰還困難区域への対応について、市長のお考えを教えてください。

回答7：市長

まずは住民がお住まいになっていた地域、あるいは希望している地域の対応が優先だと思っています。

ただ、市内には帰還困難区域が残されていますので、最終的には以前そこに住んでいた方などに確認した上で対応していく必要があります。今後検討して、整理すべき案件だと考えております。

質問8：

常磐線の再開について、南相馬から首都圏に向かう日帰り旅行などはダイヤの関係で中々難しいという声を聞きますが、こうしたことを踏まえて再開の経緯についての考えをお聞かせください。

また、再開日には市としてイベントなどを行う予定があるかも教えてください。

回答8：市長

まずは、全線開通、更には直通の特急を設けていただいたことに感謝しています。

当面はこの状態でスタートしますが、利用客が確保され、実績をあげることが出来れば、更なる利便性向上についてお願いできると思っております。

また、再開日のイベントについては、今協議中ですので、しばらくお時間をください。

質問9：

アイリスプロダクトとの協定締結式で、大山社長から「求人面で雇用を支えたい」と話がありましたが、市内の有効求人倍率は2倍を超えるなど苦戦が続いており、地元企業からは「産業集積の面では良いが、求人面で雇用に苦戦するのでは

ないか」という声が聞こえてきます。

地元企業の雇用支援などについての考えをお聞かせください。

回答 9：市長

様々な企業に進出いただくことは喜ばしいですが、従業員の確保について既存の事業所からそういう声があがっていることも事実です。

昨年以來、奨学金返還免除制度等による人の呼び込みや企業とのマッチングなどに取り組んでおり、一つでも二つでもやれることをやっていきたいと思ひます。

質問 10：

先ほど、聖火リレーの話が出ましたが、スタート時に沿道を走ってPRというものはどういう形でお出迎えするのでしょうか。また、オリンピックをきっかけとして、南相馬の被災者の現状を世界に向けてどのように発信していくお考えかをお聞かせください。

回答 10：市長

騎馬と聖火ランナーと一緒に走ることは問題があるそうですので、騎馬によるお先乗りという形で、聖火リレーの前に行くことができないか相談しているところで、詳細は今後の調整となります。

世界に向けた発信については、復興が進んでいることへの御礼をお伝えしたいという思いが大きく、相馬野馬追を元気に執り行っていること自体が復興のシンボルとしてPRに繋がると考えています。